

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【公表番号】特表2014-508819(P2014-508819A)  
 【公表日】平成26年4月10日(2014.4.10)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-018  
 【出願番号】特願2013-546784(P2013-546784)  
 【国際特許分類】

C 0 9 K 11/84 (2006.01)

H 0 1 J 61/44 (2006.01)

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 11/84 C P E

H 0 1 J 61/44 N

A 6 1 N 5/06 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式  $(Y_{1-w-x-y-z} Sc_w La_x Gd_y Lu_z)_2 \cdot a (SO_4)_3 : Me_a$  の波長変換化合物を有する波長変換材料であって、Meは、UV-C放射可能な三価の陽イオン又は三価の陽イオンの混合物を表し、w、x、y、zの各々は、0.0から1.0の範囲にあり、 $w+x+y+z=1.0$ であり、 $0.0005 \leq a \leq 0.2$ である、波長変換材料。

【請求項2】

Meは、 $Pr^{3+}$ 、 $Nd^{3+}$ 、 $Bi^{3+}$ の少なくとも1つを有する、請求項1記載の波長変換材料。

【請求項3】

$0.002 \leq a \leq 0.1$ である、請求項1記載の波長変換材料。

【請求項4】

共ドーパントとして少なくとも1つの他の三価の陽イオンを更に有する、請求項2記載の波長変換材料。

【請求項5】

請求項1記載の波長変換材料を有する、波長変換スクリーン又は被覆。

【請求項6】

変換される紫外光の光源と、前記光源からの紫外光を変換するための、請求項1記載の波長変換材料、あるいは、請求項5記載の波長変換スクリーン又は被覆と、を有する、照明装置。

【請求項7】

$Ar$ 、 $Kr$ 、 $Xe$ 、 $F_2$ 、 $Cl_2$ 、 $Br_2$ 、 $I_2$ のうち1以上を有する気体を含む放電容器を有する放電ランプであって、前記放電容器の壁の少なくとも一部が、請求項1記載の波長変換材料を備える、請求項6記載の照明装置。

【請求項8】

請求項 1 記載の波長変換材料、請求項 5 記載の波長変換スクリーン又は被覆、あるいは、請求項 6 記載の照明装置、を有する、医療機器。

【請求項 9】

光線療法装置である、請求項 8 記載の医療機器。

【請求項 10】

請求項 1 記載の波長変換材料、請求項 5 記載の波長変換スクリーン又は被覆、あるいは、請求項 6 記載の照明装置、を有する、美容機器。

【請求項 11】

紫外線照射のための請求項 6 記載の照明装置を有する、システム。

【請求項 12】

殺菌用紫外線照射による殺菌、消毒、又は、浄化のための、請求項 11 記載のシステム。

【請求項 13】

殺菌、消毒、又は、浄化のための、請求項 1 記載の波長変換材料の使用。

【請求項 14】

美容における、請求項 1 記載の波長変換材料の使用。

【請求項 15】

請求項 1 記載の波長変換材料の生成方法であって、  
Y、Lu、Sc、La、又は、Gd の酸化物を、前記三価の陽イオンの硫酸塩又は酸化  
物と硫酸含有の媒体中で反応させるステップと、  
前記媒体を除去するステップと、を有する、方法。